



第13回世界免制震会議に参加・発表

Presentation to “13th World Conference on Seismic Isolation, Energy Dissipation and Active Vibration Control of Structures, 13WCSI”

1. 概要

2013年9月24日～27日に東北大学で開催された第13回世界免制震会議で免震部材の経年変化と傾斜性能について発表した。全体の参加者は190名程度であり、参加国は開催国である日本が最も多く、ついで中国、アメリカ、イタリアの順であった。海外からの参加者は全体の約3割にあたる60名であった。4日間で150編程度の論文が発表され、当社を含む12の展示ブースが設けられた。また、ブース内には東北大学災害科学国際研究所による東日本大震災のパネルや映像が展示されていた。

2. 発表内容

(1) “Study of Aging Deterioration of Natural Rubber Bearing”

(積層ゴムの経年変化についての研究)

昭和電線デバイステクノロジー株式会社 開発

積層ゴムの経年変化や特性について、株式会社奥村組殿で使用されている積層ゴムの経年変化の調査結果や福岡大学殿で実施しているクリープ変形の測定結果を発表した。実験結果に対するサイズ効果についての関心が高かった。

(2) “The development of structural design method in the pile-head seismic isolation approach based on static horizontal load tests Part 1, Part 2”

(水平載荷試験に基づく、杭頭免震構法の構造設計手法の開発)

株式会社日建設計 福島

昭和電線デバイステクノロジー株式会社 前野

Part 1では共著者である株式会社日建設計 福島様が物流センターで採用した杭頭免震の設計手法について発表を行った。Part 2では前野より大サイズ積層ゴム及び弾性すべり支承の傾斜試験についての結果を発表した。

傾斜に対する設計クライテリアの質問が多く見られた。

3. 今後に向けて

東北地方太平洋沖地震での免震効果の解説や海外の免震システムについての発表が多くあり、国際的にも免震に対する関心が高いことを知った。今後も各種会議に参加し、積極的に当社技術をPRしていく。



写真1 発表風景 (開発)



写真2 発表風景 (前野)



写真3 展示ブース

問合せ先：〒105-6012 東京都港区虎ノ門4-3-1(城山トラストタワー)
昭和電線デバイステクノロジー(株)
営業統括部 免制震営業課
電話(03)5404-6984 FAX(03)3436-2587